

## 介護職のためのリスクマネジメント研修 アンケート集計（回答 51 名）

### ① 所属事業所を教えてください(複数回答あり)

介護老人福祉施設 13名 介護老人保健施設 9名 グループホーム 3名  
小規模多機能型居宅介護 4名 障害者支援施設等 4名 訪問介護事業所 3名  
デイサービス・デイケアセンター 6名 有料老人ホーム 4名 病院 4名  
介護療養型医療施設 1名 サービス付き高齢者住宅 1名 福祉用具 1名  
居宅介護支援事業所 1名

### ② 職種を教えてください(複数回答あり)

介護職員 44名 介護支援専門員 5名 生活相談員 5名  
ホームヘルパー 2名 その他 2名(助手業務・福祉用具貸与)

### ③ 研修はいかがでしたか

大変良かった 15名 良かった 32名 期待したほどではなかった 1名

- ・日々の介護生活の中で、色々と勉強になるお話を伺うことが出来た。苦情の声を「ニュートラル」の心で受けとめる。難しいが努力したいと思う。
- ・リスクや何かおかしいと思った時など、記録化すれば次につながる大切さ、利用者の声(家族)から発見するリスクがある事がわかった。
- ・毎日頑張っている介護職員です。事故を起こすまいと気をつけているが、予想しないことが起こるのがこの仕事の怖さ。責められないのが救い。初動対応勉強になった。
- ・情報の記録化の大切さがよくわかった。
- ・違う業種から話を聞けて大変勉強になった。今回の研修内容を施設に持ち帰り、他の職員・多職種もまじえて議論してみようかと思う。
- ・事故発生を予測し、回避することは重要なことを学んだ。リスクの見落としによって、不注意によって損害賠償などに気をつけたい。対応時には、お互いが落ち着きちゃんと理解して聞くことが重要である。工夫して聞く。介護事故が起こった時には、きちんと記録を残しておくことが重要であることを学んだ。
- ・法的な話もあり、多少難しいところもあったが、リスク回避につながるものがよくわかった。
- ・予防策や対応策を検討する上で、日頃から様々な事例に触れ「引き出し」を増やすことが重要であると再認識できた。記録の重要性は十分理解しているので、今後も手を抜く事なく、簡潔で有効な記録を残していきたい。
- ・事故が起こった際に、施設をどのように守っていくか、どのようにリスク回避していくべきかといった考えがよくわかった。
- ・今後は、予測、回避、記録化を徹底し、スタッフと情報交換しリスク管理を行っていく。
- ・研修の入り口の話が少し難しいと感じたが、記録の大切さを改めて理解した。こまかく説明していただき、自分自身や他スタッフを守るための回避方法を学べた。そして、コミュニケーションの大切さを考えさせられた。

- ・裁判にならないための方法や、裁判で問題にならないための方法ではなく、介護事故や介護職員の怪我等を防止するリスクマネジメントについて学べたら、もっと良かった。
- ・具体的な事例で、ポイントなどわかりやすかった。気の引き締まる思い。
- ・対応の工夫について、今後の対応に活かしたい。
- ・「法」の話は難しかったが、記録などきちんと残しておくということを、改めて大切だとわかった。
- ・弁護士の方より、専門的な話を聞いて勉強になった。
- ・とても良い講義でした。ただ、主催が「介護福祉会」なので、内容的には少し難しいと感じる参加者のいたのでは？と思います。参加条件を狭めて募集する方が良いかと思いました。また、資料と講義の進め方がバラバラで、ついていけない部分があった。
- ・いかに利用者のリスクを予測し回避し、安全なサービス提供ができたらと考えさせられた。
- ・要点がまとまっていて、とても分かりやすかった。引き出しを増やしていけるように、いろいろな事例を今度見ていきたいと思う。
- ・リアルで実用性が高かった。ためになった。いつでも起こりうることで、予測、回避が引き出しを増やせるよう努めたいと思った。
- ・日頃何気なくしていた記録の重要性と、書くべきポイントが単的に知れて為になった。施設では記録の勉強会もしているの、今後の参考にする。
- ・介護現場に従事する者は、顔語の専門的な知識に加えて、法的なものの見方はやはり重要になってくると思った。今後も、介護現場における法的な検討ができる機会は、期待したいと思う。
- ・分かりやすい事例があったので、理解しやすかった。予想と回避、内容を記録に残す事。できることは現場で活かしたい。講師の先生な話し方も、わかりやすかった。
- ・リスクマネジメントを防ぐ方法や、記録(証拠)として残しておくことの重要性が学べた。様々な事例に対する回答が聞いて良かった。
- ・先生のわかりやすい説明で、大変勉強になった。特に、記録がとても重要だと痛感した。苦情への対応がわかってよかった。
- ・事例をはさみながら、具体的に話が聞いて良かった。重要になるポイントを、繰り返し説明してもらい理解しやすかった。
- ・日々の介護について、リスク回避のために予測、回避、記録について再度実践したい。
- ・現場によっては常に発生するかもしれない事故、リスクに注意しながら業務を行っているが、もしも、訴訟問題が起きたとしても、今日学んだことを生かし、情報収集、分析、対策、実行、結果等をしっかりと記録に残していこうと思う。
- ・入居者、ご家族に積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていけたらいいと思った。
- ・日頃の契約が、双方で理解できていること、日誌計上の大切さがわかった。
- ・施設内で、リスクマネジメント研修を担当しているので、活かしたい。
- ・事例がたくさんあり参考になった。
- ・介護関係の事故、訴訟はニュースで見るので、興味があった。弁護士視点からのリスクマネジメントは、初めてでおもしろかった。

- ・資料がわかりやすくまとめてあった。
- ・利用者のリスクを考えるため、対策をたくさん持つことが大切。それよりも、行動していることの記録が大切である。仕事していても、記録がないと何もしてないのと同じということが心に響き、記録をまめにしようと思った。
- ・記録の重要性を再認識できた。
- ・施設の契約内容など、よく確認しておく必要があると思った。
- ・事例に関して、もっと明確なアドバイスがほしかった。(類似事例からでも、参考になる答えがほしかった)
- ・リスクマネジメントの大切さがわかった。日々の患者様の様子、声、気づきがリスクマネジメントにつながり、患者様と家族との信頼関係の構築も、法的責任の回避の要因にもなりえると感じた。
- ・事例など日頃より起こりえる内容で、参考になった。弁護士の話だけではなく、現場で働く人を交えて、事例に対してこういう対応をしたいと事例を出して、弁護士が、こういう対応はダメだなど答えていただく方がわかりやすいと思う。現場で働いている声が無くては、なかなか理解しづらい。資料だけでは、知りたいことの革新的なところが理解できなかった。
- ・事例を用いた説明で理解しやすかった。改めて記録の大切さがわかった。介護にはいろいろな根拠、また、リスクなども考えながら支援をしないといけないことも、再度考えさせられた。
- ・

#### ④ 今後受けてみたい研修

- ・介護職員の質、専門職としてのレベルアップ
- ・認知症について
- ・職員からの苦情や要望の対処の仕方、要望に答えられなかった時の伝え方
- ・今日のような研修を、定期的に行ってほしい
- ・感染症対策(新型コロナウイルスを含む)
- ・認知症の徘徊症状のある方の施設内での対応策
- ・和田行男講師の認知症研修